

泉っ子だより

みがきあい
じぶんいろに
ひかり、かがやく 泉っ子



令和2年 10月6日 30号

教育実習生が来ています！ <10/5~>

10月5日(月)から 先生が、4年1組に教育実習にきています。先生は、泉小学校・泉中学校の卒業生であり、約10年前に今の子どもたちと同じようにこの校舎で学んでいた先輩です。今は、大学で教師になるために勉強をしています。

さて、先生になぜ教師をめざすようになったのかを質問してみました。児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育に携わりたいと強く思い教師への道を決めたということです。

自分になりたい職業、仕事の夢を持つことは素晴らしいことです。目標を持つと、やる気が出ます。夢に向かって頑張る姿は、美しいものです。この教育実習でいろんな事を学び、夢を実現させてほしいと思っています。



新型コロナウイルスの「距離をとる」について

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一つとして「ソーシャルディスタンス(社会的距離)」という用語が使われています。ある一定の距離感を保ち、飛沫や接触を避けることで、新型コロナウイルス感染するリスクを軽減するというものです。この用語は、報道機関や医療機関の関係者、行政や各分野で多くの人たちが使用し今では子どもたちも自然に使っています。この用語により新型コロナウイルス感染予防に対する意識の向上にもつながり、「新しい生活様式」の環境構築が可能となりました。

しかし、社会的な距離という言葉は「人とのつながりの減少により社会的孤立が生じる」恐れがあることから「身体的な距離は取っても心の距離はとらない」という意味で、世界保健機構(WHO)は、「フィジカルディスタンス」という言い方に改めています。福岡県では、「セーフディスタンス」「キープディスタンス」という用語も提案しています。また、無理に外来語を使用せず、わかりやすく日本語で「人との距離の確保」「適切な距離を保つ」「距離をとりましょう」等の表現も推奨されています。



「福岡県教育委員会」「福岡県PTA連合会」より

家庭教育は、すべての教育の出発点として、乳幼児期からの親子の愛情と家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣や、他者への思いやりや善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身に付けていく上で重要な役割を担っています。

福岡県では、保護者の皆様に対して、家庭教育の大切さと役割を考えていただくために、家庭で実践していただきたい11項目を設定し、本県の青少年育成方策の基本となる「福岡県青少年健全育成総合計画(青少年プラン)」に保護者の皆様へのメッセージとして掲載するとともに、「福岡県家庭教育のすすめ」としてチラシを作成しました。また、チラシの周知並びに本県における家庭教育のさらなる充実を図るために福岡県教育委員会と福岡県PTA連合会が連携し、『福岡県家庭教育のすすめ』PR動画を制作しましたのでぜひご覧ください。

HP「ふくおか社会教育ネットワーク」
<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

～福岡県家庭教育のすすめ～

子育ての主役は家庭です！

家庭教育は、すべての教育の出発点として、乳幼児期からの親子の愛情と家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣や、他者への思いやりや善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身に付けていく上で重要な役割を担っています。保護者の皆さん、以下の提案から家庭教育の大切さと役割を考えましょう！

- スキンシップ**
乳幼児期は、スキンシップや語りかけをしっかりと行いましょう。
乳幼児期のスキンシップや語りかけは、人と関わりながら生きる上で最も大切な社会性を育む基礎となります。
- 理屈と体調管理**
睡眠の重要性を親子で共有し、早寝・早起き・朝ごはんの習慣をきちんと身に付けさせましょう。
朝のさわやかな食事、適切な運動、十分な栄養・睡眠をとることは、心と体の健全な成長につながります。
- 話を聴く**
子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう。
親を共に話を聴き、考えを高め、気持ちを受けとめようとすることは、親子の間のしっかりとした信頼関係を育みます。
- ほめる**
子どもが持っている良さや伸びを見つけ、積極的にほめましょう。
頑張っている姿や失敗して悔しがっている姿もタイムリよく上手にほめることで、自尊感情(自分を大切に思う気持ち)が育まれるとともに、やる気につながります。
- 叱る**
叱るべき時に本気で叱り、良いことを、悪いことをしっかりと教えましょう。
自分や他人を傷つけたり、怒らせたりするようなことをした時など、人として適切な行動をした時には、持っている理由や思いの人の気持ちもしっかり伝えることが、規範意識、道徳観を育みます。
- 我慢させる**
子どもが欲しがらなくても、物を与えないようにしましょう。
物やお金を大切に使うこと、時々我慢に耐えて我慢することを適切に教えることは、自主性や耐性(忍耐)を育みます。
- インターネットのルール**
パソコンやスマートフォンでのインターネット使用に関して、ルールを一緒に作っていきましょう。
利用に夢中になり止められず、健康や安全に気をつかえず「ネット依存」が指摘されています。家庭でしっかりと話し合い、使い方のルールづくりをすることは、健全な成長を上手に実現する力やルールを守る力を育みます。
- 外遊び**
仲間と外でしっかりと遊ばせましょう。
外遊びは、体力や運動能力、自主性や耐性(忍耐)、協調性を育むとともにストレスの解消にも役立ちます。
- 手本**
親は子どものよき手本となります。
親は「大人」の一番身近なモデルです。親自身がよき手本を示しましょう。
- 絆**
家庭の絆を再確認し、親子のふれあいや絆を大切にしましょう。
家庭は、子どもにとって最も身近な社会です。親子のふれあいや絆づくりを通して、社会性を育みます。
- 家庭で話し合ってみよう！**

※出典：福岡県青少年健全育成総合計画(福岡県青少年プラン)「国民の皆さんへのメッセージ」

お問い合わせ先／福岡県人づくり・県民生活部 私立振興・青少年育成局 政策課
TEL／092-643-3134(直通)